

区政会議における意見への対応状況

参考資料1

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
1	R2.8	山田委員 寺川委員	<p>(区の特徴ある文化資源を活かした青少年育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(コロナの関係で発表会が開催できず、指導で終わってしまったことについて、) 中学校の吹奏楽部(に対して)、せっかくそこまでされているのであれば、来年度発表するような場は考えはないのか。</li> <li>・子どもたちとアートとかプロフェッショナルな部分とどうつながっていくか重要なテーマ。(事業実施について)何かしらの方法、きっかけがあればいいと思う。</li> </ul> <p>【2年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴志康一などの文化資源を題材にということで、参加者による発表会等が実施できるような広がりがあればこの事業で継続して進めるということになるが、予算的に(年に)2回、3回ほどしか(指導が)できず、貴志康一の楽曲への理解、区への愛着というところまで持っていくにはハードルが高く、元年度で事業を終了した。</li> <li>・子どもとアートのつながりについては、令和元年度に、JRおおさか東線の城北公園通駅の開業を契機に、専門学校の学生と連携し、駅高架下に壁画アートを実施した。今後も、区内の壁画等に、地域の文化や特性を活かしたアート事業を実施していく。</li> </ul>	⑤	・青少年育成事業については、元年度で事業を終了。
2	R2.8	西村委員 早光委員 寺川委員	<p>(区の魅力発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マダムはサウスポーさん(都島区住みます芸人)とかを活用したコンテンツはあまりお金がかからないでできるというイメージがある。見てもらうきっかけがないと(再生)回数がぐんと増えるということがない。そういうきっかけになるようなものをされたらよい。</li> <li>・(都島区は)魅力発信するものが少ない。与謝蕪村以外で何か観光資源、都島区の資源を再発見するものがないのか気になる。</li> <li>・(取組として)やったことをもう少し検証する(ことが必要)。そこで得られたものを次に生かせるよう、社会的にも状況が変わってきているため、少し仕組みを考えていく必要があるのでは。</li> <li>・いろんな(コンテンツ発信の)メニューとしてはかなり(制作)されているし、実績もあるかと思うが、何があればもう少し認知されたり具体的な評価としてつながっていくのかは、見せる手法(による)。伝える方法も含めて変えないと。</li> </ul> <p>【2年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民アンケートの結果では、若年層に広報誌があまり読まれていないという結果が出ており、効果的な広報活動のためには、インターネット関係の動画配信も含めたアプローチも一つポイントであると考え。マダムはサウスポーさんの協力を得ながら、地域の魅力発信に向け取組を進める。</li> <li>・コロナ禍における新たな魅力発信の取組として、区内の景観を紹介する「都島区写真旅」という動画を作成し、区YouTubeチャンネルに投稿を開始した。今後も、魅力資源のコンテンツや発信方法について、検討を進めていく。</li> </ul>	①	—

3	R2.8	<p>能勢委員 西村委員 山田委員 早光委員</p>	<p>(水辺のまちづくり) ・(大川沿いは) 走る人、散歩する人、自転車の人がごちゃごちゃ(で危ない)。それぞれのジャンルに、自転車ならここを通ってくださいと、せめてそれぐらい(整備されていけばよい)。また、桜並木も(途中で)途切れ、高架下もあまり綺麗ではなく、統一性がないのが残念。</p> <p>・公民連携という形で、民にやってもらうために公がどうい支援や仕組みをつくったりするのが重要。民間がどういふうにすれば入ってくるのかをヒアリングするとかサウンディングして、公の整備に民間に入ってきてもらう話もあると進んでいくのではないかと。</p> <p>・いろんな(区民の)意見を聞こうと思えば、やはり区民まつりのときで、来てもらってアンケートを書いてもらうのではなく、来られた人に(アンケート用紙を)持って行って、こうこうという(説明を行う)やり方も一つの方法。</p> <p>・(まちが)きれいであるということは安全(ということ)。そういうことにもうちょっと重きを置いてやっていけばいい(愛着度が上がる)と思う。</p> <p style="text-align: center;">【2年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<p>・大規模な公園では民間事業者が維持管理もして、さらに魅力を高めるための投資を行い、より多くの人を集客したいとする動きがある。昨年、毛馬桜之宮公園を含めた大規模な公園について、大阪市の公園部局が事業者から提案を求めるサウンディングを実施した。</p> <p>・大川沿いの高架下については、水辺のにぎわいづくりや環境美化の観点から、令和3年度中に、専門学校の学生と連携した壁面アートを実施する予定である。</p> <p>・川辺の一つの取組で、大川のリバーサイドホテルの下辺りで大川かたづけ隊が、毎月第3土曜日にボランティア清掃活動をしている。今は(新型)コロナ(感染症拡大防止)の関係で中止しているが、いつも子どもたち、少年野球のチームやいろんな方が集ってごみ拾いをして、みんながいろいろ集える取組となっている。それを点という形で捉えて区内に広げて、年2回都島区クリーン作戦を5月と11月に実施している。残念ながら今年には中止になっているが、多くの方がご参加いただき、区内を一斉に清掃している。きれいにしていくことで人が住みやすい、または都島区にも来ていただけるようになっていく。小さいことかも分からないが、継続して実施していく。</p>	②	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】 (具体的取組3-1-1) 水辺のにぎわいづくり 令和3年度予算額 636千円 (うち 高架下アート・菜の花プロジェクト 598千円)</p> <p>(具体的取組1-3-1) 環境美化の推進 令和3年度予算額 34千円 (クリーン作戦ポスター・チラシ作成)</p>
4	R2.8	<p>西村委員</p>	<p>(コロナ禍でのまちづくり) ・(区将来ビジョンは) 人とつながることを重要視するようなプランになっている。その中でウィズコロナというのはかなり難しいあり方を問われると思う。何らかのつながりについても、距離があるけどもつながっていくみたいな、電子媒体でのつながりも含めて、いろんな方法で解決できるものもある。</p> <p style="text-align: center;">【2年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<p>・コロナ禍で中止となっているイベント等もあり、地域のつながりや区外からの来訪者との交流の機会が減少している。ご意見のとおり、電子媒体を利用したつながりづくりが、今後、より重要となってくると考える。</p>	②	-

5	R2.8	西村委員 能勢委員 山田委員	<p>(淀川連絡線跡地の広場整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の方、区民の方に使ってもらおうと思うと、そのプロセスプランニングが一番重要で、使う方が計画するときからどうやって関わってもらうかが大事。将来的にファンがないと使ってもらえないので。</li> <li>・子どもたちにも遊んでもらって(受け)取れるが、周りから苦情とかは出ないのか。あの辺は、新しいマンションの部分と古くからの住宅地のちょうど境(にある)。</li> <li>・(都市公園と比べて)広場というのは使い勝手がいいと思うが、何でもいいわけでもない。(利用方法等は)地域の人とコミュニケーションを取って、近くの自治会を巻き込んで検討しては。</li> </ul> <p>【2年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活圏のため、苦情も出ると考えられる。ボールについても、周りが車道で囲まれているので、危険は否めない状況である。フェンスもある程度は高さを考えているが、高いものにするると閉鎖的になるというデメリットもある。</li> <li>・平成26年度の淀川連絡線跡地全体の意見募集や、これまでの説明会でいただいたご意見も踏まえ、検討してきたが、今後、設計などでは地域活動協議会にも改めてご意見をお伺いするなど、みんなに愛されて使っていただくという観点で、何らかで関わっていただくような形で進めていく。</li> </ul>	②	<p>【予算事業における関係取組】</p> <p>淀川連絡線跡地の利活用 令和3年度予算額 48,114千円 (うち 区民広場造園工事等 48,059千円)</p>
6	R2.9	小田切委員	<p>(小学生の放課後学習支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象校は2校のみだが、今後はもっと増やしてほしい。</li> </ul> <p>【2年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上が見えてきたことから、一旦、放課後学習支援は区切りとし、今後は地域の方やボランティアを巻き込みながら、学力面でのサポートも含め、子どもたちの居場所を作っていくことに予算を使っていく。</li> <li>・令和3年度は、学習支援のほか、悩み相談にも応じる”子どもの居場所”を区内全9地域に開設し、子どもを支える環境の充実に取り組んでいく。</li> </ul>	②	<p>【予算事業における関係取組】</p> <p>都島区小学生サポート事業 令和3年度予算額 7,324千円</p>
7	R2.9	金子委員	<p>(学習支援の協力体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区全体で例えば小学校2年生が全員九九を言えるなどわかりやすい目標を立てて、みんなで協力して進められたら。</li> </ul> <p>【2年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちで何か一つテーマを持って学校をサポートしていくのは面白い取り組みである。九九だけでなく学校がどんな取組をしているのかヒアリングしながら前向きに検討していく。</li> <li>・区内の小・中学校とも意見交換した結果、”自主学習ノート等の活用による、主体的な学習の推進”を区の教育目標として取り組んでいくこととした。</li> </ul>	②	—

8	R2.9	小田切 委員	<p>(いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくりについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーターは、高齢者の見守りを役割としていたが、子どもからの相談にも応じることとなった。子どもが相談しやすい状態となしてほしい。</li> </ul> <p>【2年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもだけで相談に行くのは難しいので、地域を把握しているコーディネーターが環境的に思わしくない子どもがいる状況を察知して、一人一人に目が行き届く環境づくりをできる機能が必要と考えている。</li> <li>・地域福祉コーディネーター(地域子育て連絡員)に児童虐待に関する事例を示したり、児童虐待に密接な関連があるDVに関する研修を行うこと等により、児童虐待の早期発見に努めている。</li> <li>・実際に、地域福祉コーディネーター(地域子育て連絡員)から、近隣で気になる子どもや家庭についての情報提供を受け、区役所の虐待担当が学校等の関係機関と連携し、詳しい状況の把握や家庭訪問を行った事例もある。</li> </ul>	②	<p>【予算事業における関係取組】</p> <p>重大な児童虐待ゼロに向けた地域子育てアシスト事業 令和3年度予算額 2,628千円</p>
9	R2.9	柴田 委員	<p>(安心して子育てできるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティセミナー等の事業について、コロナ禍の中、オンライン講座などで学べる場も必要。</li> </ul> <p>【2年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインなど区民の方が学べる仕組みは課題として取り組んでいく。</li> </ul>	②	—
10	R2.9	金子 委員	<p>(居場所や学習支援の場の広報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放など、地域でお母さんが集まる場所をリサーチして案内文書を置いてもらうなど、そういうことも考えられたらもう少し広がっていくのでは。</li> </ul> <p>【2年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所や学習支援について、地域の保護者が集まる場所の調査などを通じて、幅広く広報していくよう検討する。</li> </ul>	③	—
11	R2.9	森田 委員 阪田 委員	<p>(地域福祉コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の広報誌にも掲載された「おうち日和」というチラシを利用して、地域を回っている。今までは福祉会館で高齢者の方などにお会いすることができたが、新型コロナウイルス禍になってからほとんど出入りがなくなり把握ができなくなった。</li> <li>身近な相談やアドバイスなど下準備することで、高齢者の方などは区役所へ行ってもスムーズに関係機関とつながれるようになると思う。</li> <li>・利用者にとっては、いい仕組みだが、高齢者をはじめみんなにも分かりやすいようなネーミングにしたほうがいいのでは。</li> </ul> <p>【2年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地道な活動をされている様子を広報していくことが重要だと考えている。名前に関しては、他区の同様の取組でも似たような名前を採用している区が多いが、今後、そういうお声もあるということで、検討していく。</li> </ul>	③	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組2-2-1) 地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化 令和3年度予算額 10,869千円</p>

12	R2.9	中口委員	<p>(京橋駅前の路上喫煙マナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会や商店街と行政が一体となって、マナー啓発等を行っており、ボランティアで毎回参加しているが、もっと参加者が増えたい。</li> </ul> <p>【2年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>京橋の安全なまちづくり連絡協議会という地元の商店街、(地域)、国などの関係機関も含めて19年度から大きな組織をつくって、いろいろな啓発活動をしているが、なかなかマナーの問題が消えない実情がある。(大阪北)たばこ商業協同組合の方々も定期的にたばこの吸殻のポイ捨て等のボランティア活動を実施していただいている。こうした広がりをつくっていくことによって安全安心のまちづくりをめざしていきたい。また現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響により駅前での啓発活動を中断しているため、広報媒体を活用した情報発信などにも取り組み、感染状況が改善されれば駅前での啓発活動を再開しマナー向上に向けて取組を進めたい。</li> </ul>	②	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組1-3-2)</p> <p>路上喫煙禁止地区の啓発</p> <p>令和3年度予算額 1,893千円</p> <p>(うち啓発絵画ポスター作成 6千円)</p>
13	R2.9	熊本委員	<p>(新型コロナ禍でのつながり・防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災について、新型コロナが起きて収容人数がかなり少なく、ニュースなんかでも、いっぱい入れなかったというのがあった。もし地域でそういうことが起これば、安心して、避難所に入れるのか心配。</li> <li>日頃からの地域のつながりにスマートフォンを活用できるよう、高齢者向けにスマートフォン教室を実施してはどうか。</li> </ul> <p>【2年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で災害が発生した場合、一人当たりの避難スペースが1.6㎡から4㎡や6㎡に拡大しなければならない。今まで想定した避難者数が避難すると不足してしまうので、学校の協力により避難できる教室の拡大や、分散避難ということで運動場も開放し、避難想定人数は確保した。ただ、想定外(の災害)にも耐えられるように、引き続き避難場所は確保していく努力は必要と考えている。</li> <li>区社協(社会福祉法人大阪市都島区社会福祉協議会)と(都島区)老人福祉センターが区役所の近くにあり、そちらのほうでもスマホ教室が開催されている。どんな中身を教えてほしいか、いろんなバリエーションもあると思うため、初級、中級、上級となるのか、そういったことを区社協と連携しながら実施していく。</li> </ul>	① ②	—
14	R2.10	彦坂委員	<p>(安心して子育てできるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに不安を感じる保護者が相談できる場所が分からずに地域で孤立する傾向がある。情報伝達手法をどういうふうに構築していくかが非常に大切かなど思っている。ホームページ等で告知しても、なかなか区のホームページなど見に行かれることは少ないのでは。息子などの様子を見ていると、やっぱりツイッターやインスタなど、スマホをベースにいろいろな情報を収集しているような傾向がある。例えば子育てセミナーなど各分野ごとにそういった(スマホをベースにした)ツールを用意しておいて、必要な人は登録しておけばそういう新しい通知が届くなど、そういうやり方ができないのかなと思う。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホを利用する子育て世代の方に届けやすくするようSNS等を活用した情報発信について進める。</li> </ul>	②	—

15	R2.10	金子委員	<p>(地域による学習環境の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身、元教員だったため、そういう(地域の人がボランティアで教える)こともやっている。そういう人らが少しでも増えていけばいいのではないかと。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援の場の提供について、地域やボランティアの方にも協力いただけるような仕組みを今後検討していきたい。</li> </ul>	③	—
16	R2.10	金子委員	<p>(地域福祉コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合の会長をしているが、役員会でも、地域福祉コーディネーターをなかなかご存じない。社会福祉協議会へ行って、いろんなバンプをもらって、まず役員の方々に広めて、そこから各班に広げ合っていくような取組を各町会でしていただいたら、地域福祉コーディネーターという人がいるという意識が高まっていくのではないかと。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーターは、各校区9地区にいらっしゃるが、基本的には各福祉会館で常駐いただき、いろんな相談事を受けていただいている。</li> </ul>	⑤	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組2-2-1)</p> <p>地域福祉コーディネーターによる福祉相談の充実や見守り体制の強化</p> <p>令和3年度予算額 10,869千円</p>
17	R2.10	金子委員	<p>(災害時の避難場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が避難地になっているが高さ的には低い。高いマンション群などの避難場所は手を挙げている数がかかなり少ない。高いマンションのところを区として(避難場所としての)受入れのお願いには行かれていますか。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設でいうと小中学校、高等学校が指定されており、加えて民間の事業者やビルのオーナーの方々に協力を依頼し、一部既に市営住宅等に協力いただいている。各地域で情報をいただけた場合は我々も積極的に行かせていただき、我々自身も各地域を回らせていただいているときに、こういうところが協力をいただければということであれば、直接ご訪問し、協力をお願いできないか地道に行っていく。</li> </ul>	①	—

18	R2.10	<p>寺川委員 彦坂委員 能勢委員</p>	<p>(津波避難ビル) ・今の津波避難ビルは、何かプロットされたものが見れたりするか。</p> <p>・津波避難ビルについて、単に高ければいいというわけではないと思うが、選定基準的なものはつくられた上で選定されているか。</p> <p>・津波避難ビルなどに避難する場合に、もし近所の人たちがそのビルに一斉に押しかけてくるなど、そうなった場合の誘導や、そのビルに入ってからどう動いて、どうソーシャルディスタンスを取るかなど、そういう面まで突っ込んで設定されているか。</p> <p style="text-align: center;">【2年度 第1回区政会議】</p>	<p>・毎年、区広報誌の8月号に防災特集というのを組み、防災マップを載せている。津波避難ビルはどこにあるかホームページでも見られるようになっており、(新たに)登録されれば更新している。</p> <p>・選定については、申請いただいたときに現地の建物の構造は確認をさせていただき、津波、地震等が起こったときに強度的に対応できるか確認させていただいた上で登録の手続きを取っている。</p> <p>・ソーシャルディスタンスを踏まえた避難行動は、今年度に入り、各地域に区役所としてもいろんなところで発信している。各地域でも防災訓練を含めて様々な取組をしていたでいる。実際逃げさせていただいた後に密になるかも分からないが、命を守る行動をまず取っていただくことになるため、津波が引いた後どうしていくかは、状態を見てご指示をさせていただくことになる。津波のときには地域の自主防災組織が活動していただいているため、そういった方々の指示にも基づいて避難行動を取っていただければと考えている。</p>	①	—
19	R2.10	<p>寺川委員 田淵委員</p>	<p>(コロナ禍での避難所運営) ・コロナ禍の避難所の運営など、具体的な検討はされているか。</p> <p>・コロナと全然関係なく普通に風邪で熱が出るかもしれない人と、コロナで熱が出ているかもしれない人が一緒に空間にいるというのは、難しいかと思うがどう考えられているか。</p> <p style="text-align: center;">【2年度 第1回区政会議】</p>	<p>・避難されてきた方の受付をどうするのか、その場で検温して平熱の方と熱がある方に分けていただく初歩的な避難行動は訓練も行い、加えてコロナ禍に災害が起こったときにどう避難するのかということも各地域に出向いてご説明しながら、非常時に皆さんが命を守る行動を取っていただけるよう順次進めている状況である。</p> <p>・国の基準では37.5度以上の発熱があれば、そういう可能性があることになるため、発熱をされている方を平熱の方と同じところに避難していただくことは、避けないといけない。発熱をされている方は別の避難場所、教室に新たに療養スペースという名称で避難所をつくるが、そちらのほうに移っていただくことになる。感染が見込まれる方は、保健所等のほうにご案内をして検査を受けていただき、また指定医療機関等に行っていただくことも道筋としてはつくっているため、その場で状況判断ということになってこようかと考えている。</p>	①	—

20	R2.10	寺川 委員	<p>(コロナ禍でのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ教室のような新しいつながるツールをこの際検討してはどうか。現役世代側が高齢者の方にそれだけ必要なアイテムを提供していかないというのがすごく不思議。スマホの使用方法を高齢者に向けて、何回も開いていただけたほうがいいと思う。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区社協(社会福祉法人大阪市都島区社会福祉協議会)と(都島区)老人福祉センターが区役所の近くにあり、そちらのほうでもスマホ教室が開催されている。どんな中身を教えてほしいか、いろんなバリエーションもあると思うため、初級、中級、上級となるのか、そういったことを区社協と連携しながら実施していく。</li> </ul>	②	—
21	R2.10	早光 委員	<p>(水辺のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都島区は三方が川に挟まれており、そのために水辺のまちづくりということを挙げられていると思うが、その割には水辺の景観が非常によくない。桜宮の銀橋から毛馬の洗堰まで歩いてみると、観光に来て散策しようという気にならないようなルートというか景観である。もう少し何とかならないのかなと。美しく。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺のにぎわいづくりや環境美化の観点から、令和3年度中に、大川沿いの高架下に、専門学校との学生と連携した壁画アートを実施する予定である。</li> <li>・現状では、魅力資源が十分に活かされていないため、引き続き、関係機関と連携・協働したイベントの開催や、情勢に応じた情報発信方法の検討などにより、取組を進めていく。</li> </ul>	②	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組3-1-1)</p> <p>水辺のにぎわいづくり</p> <p>令和3年度予算額 636千円</p>
22	R2.10	早光 委員 金子 委員	<p>(区の魅力発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある都島区の中で観光資源をもう少し活用していただきたい。新しい魅力のあるものがいろいろあるため、蕪村に頼らず、(活用していただきたい)。</li> <li>・蕪村通り商店街の中で、今、菜の花を、これは個人でやっているような感じで、個人でいったらプランター10個も世話できないような状況。今年、種花(種から育てる地域の花づくり)という団体が都島区にあることを知り、入れていただいたら見事に苗が咲いた。こういうすばらしい団体があるため、提携しながら菜の花をもっと広めて駅周りなどに広めていただけたらと思う。</li> <li>・名所云々というのを区役所の広報の中にも入れていってもらったら、ちょっとは皆さん認知されるのではないかな。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の魅力資源を、幅広い世代に発信するため、区YouTubeチャンネルで動画を配信している。2年度からの新たな取組として、区の美しい景観を写真スポットとして取り上げる「都島区写真旅」シリーズを公開した。区内外の人に動画を見てもらうことで、区への愛着醸成につなげるとともに、区外からの来訪を促すことを目的としている。</li> <li>・菜の花については、かつて淀川沿岸に広がっていたとされる菜の花畑の面影を再現するため、3年度中に、JR おおさか東線「城北公園通駅」の北側緑道帯等に菜の花プランターを並べる予定である。今後も、地域の特性を活かした魅力づくりに取り組んでまいります。</li> <li>・区内各所の魅力について、広報誌をはじめウェブサイトでも紹介をしているが、引き続き効果的な発信を検討し、区民の皆さまに認知していただけるよう努めたい。</li> </ul>	②	<p>【令和3年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組3-1-1)</p> <p>水辺のにぎわいづくり</p> <p>令和3年度予算額 636千円</p> <p>(うち 高架下アート・菜の花プロジェクト 598千円)</p>



23	R2.10	山田 委員 彦坂 委員	<p>(防災のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災関係について、地域は自助をしないと今の時代は駄目なのではないかということで、(市から配付された)発電機を持って訓練しているが、使い勝手が悪い。ビジョンとして防災備品を購入するのであれば、地域に相談してほしい。</li> <li>・大きな企業だとソーラーパネルと電気自動車みたいなものを組み合わせて、発電したものを一旦全部電気自動車の中に蓄電しておいて、緊急時はその自動車を集めてきて、そこから電力を戻して、その建物の電力に充電するというようなシステムをやっているため、そのような蓄電するという考え方もソーラーと組み合わせてやっていたら、非常に災害時に有効になってくるのではないかと。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における地域本部・避難所等の電源確保のための非常用発電機を、大阪市危機管理室のもと、令和2年度から非常用発電機を配置しているところである。いただいたご意見等については、危機管理室への伝達等により、反映できるよう努める。</li> </ul>	②	—
24	R2.10	伊藤 委員	<p>(子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の変化によって対面で相談がしづらいケースがある。インターネットを使って相談ができるというのは理想的。</li> <li>・(子育て)イベントに来なくても、家でも相談できるほうがいい。家から出たくない、お友達も要らないという方もいらっしゃる。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINEの発信について、様々な子育てのイベントなり情報を常々発信して、広報誌でもQRコードで読み取れるような形を取っている。子育て支援室でもメールでお問い合わせいただき、返しとしては電話になってしまうが、来られなくても相談できるようなチャンネルを増やしていこうと考えている。できるだけいろんな形でお受けできるように体制を取っていているため、ご指摘のとおり事業の方向性のところにそういったところを加えた。</li> </ul>	②	—

25	R2.10	小田切委員	<p>(自転車マナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車のマナーが非常に悪過ぎる。出前講座で自転車の乗り方の講座メニューがあるというのを今月号(10月号)の広報誌で見たため、地域ではぜひお願いしたいと思う。若い人がどれだけ参加してくれるか分からないが、とにかく知らないのだと思う、通行方法などを。SNSを使うか何か方法を工夫して学ぶ機会を増やしていただきたい。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座で若者を集めるということであれば、そこに赴いて啓発をさせていただく。大きなテーマだと認識しているため、引き続き警察とも連携しながら啓発活動に取り組む。</li> </ul>	②	—
26	R2.10	中山委員 早光委員 熊本委員	<p>(淀川連絡線跡地の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事が入ると、小中学校の通学などには、工事車両などは大丈夫か。道が狭い状態のため、どうかと思う。</li> <li>・南側が京橋の商店街に隣接しており、広場ができる場所までの(南側から連続した)グリーンゾーンで、業者が変わっても遊歩道的な形で残していただくというのでは。</li> <li>・遊歩道に関して、防災に絡めていただき、避難所に行けない方々でもちょっと休んで、普段でもくつろげるベンチなどがあって、みんなが使えるような場所にしていただけたら。</li> </ul> <p>【2年度 第1回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事は関係機関に許可を取り、安全を確保しながら進める。工事の際の動線については、どのような工事でも通学路との関係は非常に大事であり、十分な配慮を行うこととしている。特にここはご指摘のとおり、北側はかなり細い道になっているため、事業者にも伝えていきたい。</li> <li>・一本のネットワークが蒲生のほうからエディオンのあたりに来ているため、それをつないでいくということは、現在公募中の土地売却の条件としても加えている。3年度中に工事予定の区民広場でも、歩行者空間の整備を予定している。</li> <li>・ベンチについては、区民広場内に設置予定である。なお、売却予定地の歩行者空間の仕様については、民間事業者提案していただくこととなる。</li> </ul>	②	<p>【予算事業における関係取組】</p> <p>淀川連絡線跡地の利活用 令和3年度予算額 48,114千円</p>

(参考)

【2年度 第2回各部会(書面による意見聴取)】及び【2年度 第2回区政会議】でいただいたご意見については、別途資料にて配付済。

※分類

- ①2年度において対応
- ②3年度運営方針に反映または3年度に対応予定
- ③3年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他